

天然メシマコブ

学名：PHELLINUS LINTEUS

1968年、長崎県の離島、男女群島の女島^{メシマ}の桑の木から採取された茸に衆目が集まりました。

それは他の茸が追従できない優秀な茸であることが認められたからです。

女島で発見されたので女島に因んでメシマコブと命名されたのですが、実は中国では古来、桑黄といわれるタバコウロコタケ科の有名な茸です。



子実体(茸)栄養成分(100g中)

たんぱく質6.7g・脂質1.0g・糖質3.9g・エネルギー51kcal・食物繊維71.9g・ナトリウム0.9mg

弊社は、いちはやく、メシマコブの試験栽培を試みましたが収率が悪く採算がとれないので半ば諦めていた処、中国には天然物があることがわかり、早速、現地調査をして桑黄の数種類の亜種を特定しました。

メシマコブに外観がよく似たツリガネタケ、キコブタケ、ツガサルノコシカケ、コフキサルノコシカケ、その他が多いのでメシマコブの特定には苦労しました。その上、メシマコブに数種類ある亜種間で可成りの優劣があり、特に女島タイプの亜種が最良であることも判明しました。

茸専門の弊社の長い経験からスクリーニングしたこの種類は、皆様から高い評価をいただいている、弊社がお奨めする第一級品です。

お召し上がり方

- 刻み(2mm)： 1日分として5～9gを鉄、アルミ以外の鍋等で約540～720の水を入れ30分程度煮出した液を2～3回に分けてお飲み下さい。(2日分を一度に作られても結構です)
- 粉 末： 1日分として4～5gを2～3回に分けてオブラートで包むかお湯で溶かしてお召し上がり下さい。
- 3倍特濃粒： 1日分として約12粒を2～3回(朝昼夕又は朝夕)に分けてお召し上がり下さい。
(1箱250mg×360粒、メシマコブ(乾)270g使用)